



アウトリーチ型支援病院 合同研修Ⅰを実施しました

東京都ナースプラザでは、看護職員定着促進事業として、担当の就業協力員が200床未満の病院を訪問し、支援をしています。6月7日(火)には、「アウトリーチ型支援病院合同研修Ⅰ」を開催しました。

様々な医療体制の9病院22名の看護管理者やコアメンバーが集い、自病院の課題を明らかにして未来像や今後の取り組みについて話し合いました。

講義

テーマ：「自病院のめざす患者の姿や看護ケアを語り未来像を共有する」

講師：東京女子医科大学看護部看護管理学 准教授 國江 慶子先生



自病院の地域での役割を明確にし、めざす患者の姿をイメージしましょう。患者を主語に考えることが大切です。

グループワーク

テーマ 「自病院のこれからについて看護管理者と共に語り合う」



「めざす患者の姿」を具体的にイメージしよう

- 地域における自病院の役割や使命は何ですか？
- 患者にどのようなケアを提供したいですか？
- スタッフにどのようになって欲しいですか？

講師や就業協力員も、グループワークと一緒に参加しました。

参加者の感想

受講後アンケートより、「理念・方針に基づく具体的な姿が言語化できた」「他施設の意見や考え方が聞くことができ楽しかった」「他病院の話が共感できる場所があり、参考になった」「自病院の強みに気付くことができた」「メンバーと話す機会がなかったので、大変良かった」等、聞かれました。

講師からのメッセージ

めざす姿を考える上で、「患者がこうなることを願っている」という表現をすると、違う視点が見えるかもしれません。そのためにできることを一緒に考えましょうというアプローチを、ぜひ、この東京都のアウトリーチでやっていって頂けると嬉しいです。

看護管理者の皆様

次回の研修「合同研修Ⅱ」は11月4日(金)です。次年度、「アウトリーチ型定着促進支援」に参加し、魅力ある組織づくりに取組んでみませんか？令和5年1月頃にご案内します。

東京都ナースプラザ確保係

参加者へのおみやげ

エコバッグだよー